

演題名	更なる経費削減を求めて		
施設名	茅ヶ崎セントラルクリニック	ふりがな 発表者(職種)	あきやま みふみ 秋山 美文 (事務)
ふりがな チーム名	それせんとらるにやらせてください ～それCENTRALにやらせて下さい～		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組み種別	課題達成型		
改善しようとした 問題課題	当院では、外来透析患者様向けに通院支援サービスとして無料のタクシー送迎を提供している。近年これにかかる費用が増大し経営上の大きな課題となっていたため、2024年度は、70,000円/日を年間目標として取り組みを実施。11月までに目標達成できたが、更なる削減が可能ではないかと考え、新たにTQMチームを発足し活動強化した。		
改善の指標と その目標値	(指 標) 1日平均タクシー送迎費用 (目標値) 3月末までに、6万7千円以下に抑えられている		
実施した対策	①クリニック専用車両の活用拡大 ②乗車組合せの最適化 ③ルート最適化		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) 2023年4月～2024年3月 1日平均タクシー送迎費用 78,361円 2024年4月～2024年12月 1日平均タクシー送迎費用 69,327円 (実施後) 2025年1月～2025年3月 1日平均タクシー送迎費用 66,930円		
歯止めと 標準化	<ul style="list-style-type: none"> 新規送迎申込時、事務部でルートと組合せを検証しタクシー会社へ提案する 近隣在住患者さんの送迎時、クリニック専用車両による送迎を検討する 月1回、事務部とTQMチームで既存のルートと組合せの見直し会議を実施する 治療時間変更時や長期入院による欠員発生時は、ルートと組合せを検証し再編成する 		
活動の種類 ※複数選択可	②複数の職場が連携した活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 秋山 美文 事務
活動の場 ※複数選択可	①診療部門 ④その他		2 伊藤 順子 事務
活動期間	2024年12月 ～ 2025年6月		3 松林 真理子 事務
リーダー名 (職種)	秋山 美文 (事務)		4 常田 ひろみ 事務
活動回数	9 回		5 毛利 朋代 事務
			6 成田 朋子 看護師
			7 吉時 裕司 看護師
			8 前田 朋子 看護助手
			9 森川 元気 臨床工学技士
			10 金野 琢磨 臨床工学技士

【テーマ選定】

テーマの選定

健国会グループ全体の経営課題

経費削減

テーマの選定

テーマ/項目	方針	実効性	経済性	実現可能性	評価点
医薬材料の再選定	○	×	○	△	13
水光熱費の見直し	○	△	×	△	11
タクシー送迎費用の削減 (実効化する！)	○	○	○	○	20

テーマの選定

- 無料送迎サービスの種類
 - ◆ タクシー送迎 (当院⇔各自宅)

タクシーを利用した無料送迎サービスを行っております。
クリニック⇔自宅、ドアtoドアで往復
 - ◆ 駅送迎 (当院⇔茅ヶ崎駅南口)

クリニック専用車両によるクリニックから茅ヶ崎駅南口への無料送迎
送迎は治療時間の暇人にも考慮し、茅ヶ崎駅まで送迎
 - ◆ 寒川送迎 (当院⇔寒川方面各自宅)

クリニック専用車両によるクリニックから寒川方面へのドアtoドア無料送迎
火・木・土AMクール対象

テーマの選定

- 2023年度の状況と課題
 - ・タクシー送迎に係る一日あたりの費用
平均78,361円！
 - ・2023年11月 タクシー料金の大幅値上げが実施
月額約70万円の追加コストが見込まれ
無料送迎サービスの維持が困難な状況
- 2024年度改善施策
 - 1台あたりの乗車人数を3名から4名に変更、配車効率をUP
タクシー送迎に係る一日あたりの費用
平均70,000円 目標！

テーマの選定

目標達成しているが、停滞

更なる削減も可能！？

利用月	一日あたり平均	タクシー稼働日	一日台数平均
4月	72,512	25	24.5
5月	70,624	24	24.4
6月	69,202	25	23.4
7月	67,841	26	23.0
8月	68,051	26	23.3
9月	68,844	23	22.7
10月	69,102	26	22.9
11月	68,092	24	22.7

攻めどころの明確化

課題の名称	原因/課題	現在の状況	狙った対策	取組むべき対策	期待効果	優先度
タクシー送迎に係る費用の削減	深夜ルートを選択	乗客利用の組み合わせにより夜間	ルート最適化による費用削減	ルート最適化	大	高
	送迎乗車人数を増やす	送迎乗車人数を増やす	1名乗車率を向上させる	乗車組合せの最適化	中	高
	1名乗車タクシー台数を減らす	1名乗車タクシー台数を減らす	3名以上の乗車率を向上させる	乗車組合せの最適化 専用車両の活用拡大	大	高
	スタッフ送迎を削減し 送迎コストを削減	タクシー会社との交渉が多い	タクシー送迎費が高コスト	タクシー専用車両の活用拡大	中	高
クリニック専用車両の稼働率を高める	クリニック専用車両の稼働率を高める	クリニック専用車両の稼働率を高める	クリニック専用車両の活用拡大	大	高	
送迎時間短縮	送迎時間短縮	送迎時間短縮	送迎時間の短縮	送迎時間の短縮	小	低
1台定数制	1台定数制	1台定数制	1台定数制	1台定数制	大	低

【目標設定】

目標設定

2025年3月までに
1日平均タクシー送迎費用を
67,000円以下に抑える！

【対策の立案と実施】

方策の立案

- クリニック専用車両の活用拡大
自分運であることはないか
他の送迎手段はないか
- 乗手組合せの最適化
乗車できる最大数は？
送迎終了時間と居住地域の考慮
- ルートの最適化
タクシー会社に任せず乗客にしない
近隣在住スタッフの提案

成功シナリオの追求と実施①

クリニック専用車両の活用拡大

- ・ タクシ 乗中の組合せが難しい場合
- ・ 近隣在住の患者さん送迎
- ・ クリニック原因による治療終了時間の延長

→ タクシー併用対応ではなく
当該スタッフによる送迎を第一候補に検討！

専用車両による送迎便数

送迎前	送迎後
4便	5便

・ 送迎スタッフの空き時間も有効活用

【対策の立案と実施】

成功シナリオの追求と実施②

① 乗車組合せ最適化

- 定期（TQM打ち合わせの日）
既存組合せの最適化
- 不定期（発生都度）
新規送迎希望患者と既存患者との組合せ
に即入院による欠日発生時も再検討し、台数の適正化

1名乗車のタクシー台数

	活動前	活動後
	3台	1台

成功シナリオの追求と実施③

② ルート最適化

- タクシー会社任せだったルート選定をクリニック内でも検証
- 乗車順、ルート見直しの話し合いを実施

LINERWORKSで日々細かいオーダー
「本日のみ」のコースへ変更など

【効果の確認】

効果の確認①

利用月	一日あたり平均	タクシー稼働台	一日台数平均
1月	66,823	23	21.9
2月	67,263	22	22.1
3月	66,704	25	22.1

LINERWORKSで日々の請求額、一口平均稼働共有

1~3月 平均66,930円 目標達成?!

効果の確認②（波及効果）

スタッフ意識改革

やむを得ず治療延長し、予定のタクシーに乗車できない場合は、臨時便での対応から、他号車への相乗りや送迎スタッフで対応する

患者さんの意識改革

地元民である患者さんこそ最短ルート提供者、同乗者がいて譲り合いの意識へ

【標準化と管理の定着】

標準化と管理の定着

いつ	どこで	誰が	何を	どうする
新規申し込み依頼	事務所	事務スタッフ	ルートと乗車組合せ	検証し、タクシー会社へ提案
月1回	事務所	事務スタッフ + TQMメンバー	専用車両による送迎	検証（近隣在住患者の場合）
治療開始・終了 時間変更時	通所室	送迎室クレーン + 看護員	ルートと乗車組合せ	見直し会議を実施
長期入院による 欠員発生時	通所室または 事務所	送迎室クレーン + 看護員	ルートと乗車組合せ	検証、再編成
治療内容変更時	通所室	事務スタッフ + 看護員	ルートと乗車組合せ	同乗者の入車中は他の便への乗車を検証

【反省と今後の進め方】

反省と今後の進め方

ステップ	良かった点	反省点
テーマ選定	・経費削減という大きなテーマの中でも、2024年度のクリニック目標に沿った内容にした	・特になし
目標設定	・クリニックの目標をさらに逸及しうる設定となった	・特になし
方策の立案・設定	・さまざまな角度から取り組みを検討することができた ・過去の方策をさらにリファインメントできた	・特になし
成功シナリオの追求・実施	・スタッフ、患者を巻き込むシナリオできた	・患者の利便性を追求できたか確認できていない
標準化と管理の定着	・セントラルクリニックの施設運営の実現と串なる	・持続可能な検証不十分 ・全職員に定着化していない